

上作延こども文化センターご利用者さまアンケート集計結果

実施期間

2025年10月11日～10月31日

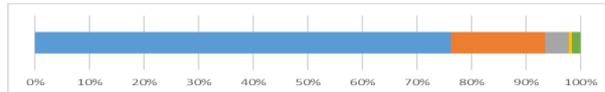
回答数

配布数 227 有効回答数 187 有効回答率 82.4%

集計結果 (単位:%)

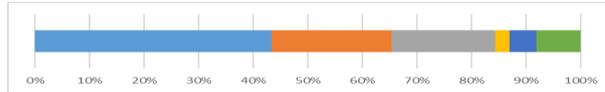
①こども文化センターは楽しく過ごせていますか？

そう思う 76.2 ややそう思う 17.3 どちらともいえない 4.3 あまり思わない 0.5 そう思わない 0.0 無回答 1.6



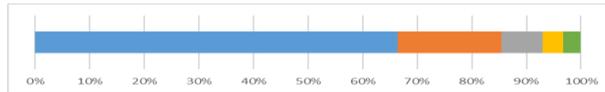
②こども文化センターの行事は充実していると思いますか？

そう思う 43.2 ややそう思う 22.2 どちらともいえない 18.9 あまり思わない 2.7 そう思わない 4.9 無回答 8.1



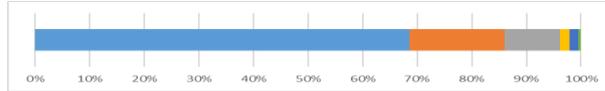
③施設の利用ルールは分かりやすく、安心して利用できますか？

そう思う 66.5 ややそう思う 18.9 どちらともいえない 7.6 あまり思わない 3.8 そう思わない 0.0 無回答 3.2



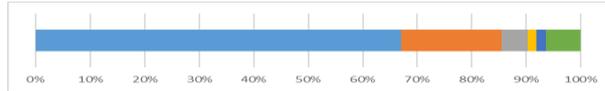
④施設の職員は対応がよく、相談しやすいと思いますか？

そう思う 68.6 ややそう思う 17.3 どちらともいえない 10.3 あまり思わない 1.6 そう思わない 1.6 無回答 0.5



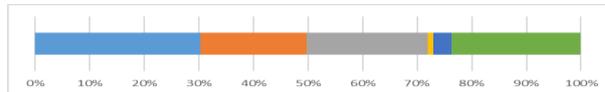
⑤施設の清掃は行き届いていると思いますか？

そう思う 67.0 ややそう思う 18.4 どちらともいえない 4.9 あまり思わない 1.6 そう思わない 1.6 無回答 6.5



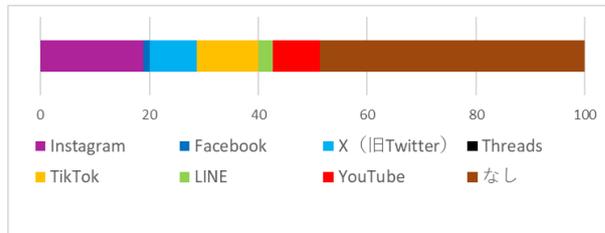
⑥HP・こども文化センター通信はわかりやすいですか？

そう思う 30.3 ややそう思う 19.5 どちらともいえない 22.2 あまり思わない 1.1 そう思わない 5.2 無回答 23.8



⑦一番よく利用するSNSについて教えてください。

Instagram 18.9 Facebook 1.1 X 8.6 Threads 0.0
TikTok 11.4 LINE 2.7 Youtube 8.6 なし 48.6



どのように過ごしているか教えていただけますか？

■乳幼児

乳幼児の利用は、「こども支援センター」「幼児ルーム」など、主に室内空間を活用した遊びが中心となっています。内容としては、おもちゃ遊びが最も多く、シルバニアやボール遊び、幼児用自転車など身体を動かす遊びも見られます。保護者同伴での利用が基本であり、安心して遊ばせられる場所として活用されている様子が見えます。集会室での運動や学習室での食事などでも利用されています。

■小学校1年生

イベント参加やぬりえ、お人形遊びなど、比較的静的な遊びと友達との関わりが中心です。「友達がいれば一緒に遊ぶ」という回答から、友達の存在が利用動機のひとつとなっていることが分かります。

■小学校2年生

「友達とゲーム」が顕著であり、ゲーム利用が大きな割合を占めています。お菓子を食べながら過ごす様子も複数見られ、くつろぎの場としての利用が定着しています。読書やバイブレードなど、個人の興味に応じた遊びも確認できます。

■小学校3年生

ゲーム利用がさらに増える一方で、マンガ、ぬりえ、キーボード、勉強など多様な過ごし方が見られます。スタッフとの交流も一定数あり、遊びの相手としての職員の存在も感じられます。友達と遊ぶ利用と、ひとりで過ごす利用の両方が見られます。

■小学校4年生

最も回答数が多く、利用の中心層であることがうかがえます。集会室の利用、友達との遊び、ゲーム、ドッジボール、マンガ、ボードゲームなど活動は多岐にわたります。昼食をとる場としての利用も目立ち、放課後の居場所として機能している様子が明確です。身体活動と室内活動の両方がバランスよく行われています。

■小学校5年生

ゲーム利用が中心であり、友達との会話や集会室利用が続きます。活動の幅はやや絞られる傾向にありますが、友達との時間を過ごす場所としての機能は継続しています。

■小学校6年生

ゲーム・集会室利用が主軸となり、マンガやお菓子を食べながら友達と話すなど、くつろぎ型の利用が多く見られます。学年が上がるにつれて、静的・滞在型の利用傾向が強まっています。

■中学生

ゲーム、カードゲーム(ポケモンカード等)、集会室利用、卓球が中心です。友達との会話やカードゲームなど、仲間との交流を重視した利用が目立ちます。

■高校生

卓球利用が圧倒的に多く、交流や運動を目的とした来館が中心です。

■成人

卓球利用が非常に多く、継続的な練習・活動の場となっています。漫画や読書、カードゲーム利用も一定数あり、地域住民の交流拠点としての役割も果たしています。

こども文化センターでやって欲しい行事はありますか？

■乳幼児

ハロウィン、餅つき、バザー、室内遊具イベント、未就学児運動会など季節行事・交流型行事への期待が見られます。また、土日開催の希望や、幼児向け集会室イベント、救命講習など保護者向け学びの機会の要望も挙がっています。

■小学校低学年(1～3年)

大会形式(バイブレード、リレー、玉入れ)、ハロウィンやクリスマスなどの季節行事、くじびき、プラレール、かくれんぼなど、参加型・体験型イベントの希望が多く見られます。

■小学校中学年(4年)

お菓子パーティーやビンゴ大会、スポーツ大会、UNO大会、屋台系イベントなど「お祭り型」「大会型」の希望が顕著です。体験よりも盛り上がりや楽しさを重視する傾向が見られます。

■小学校高学年(5～6年)

ゲーム大会、スマブラ大会、バスケなど競技性のあるイベントが中心です。「ストレス発散」といった表現もあり、発散の場としてのイベント需要がうかがえます。

■中高生

お菓子系イベント、ポケモンカード大会、バレンタイン・ひな祭りなど季節イベント、映画上映などが挙がっています。仲間同士で楽しめる企画への関心が強い傾向です。

■成人

バザー、映画上映、焚き火、プラレールなど、子どもと地域が共に参加できる行事の希望が見られます。

こども文化センターに望むことや不満を感じていることがあれば教えてください。

■乳幼児

体を動かせる遊具の充実

トイレ改修・バリアフリー(エレベーター)整備

赤ちゃん向け図書の充実

土日開催イベントの拡充

表示・案内の分かりやすさ

乳児向け遊具の増設

一方で「助かっている」「素晴らしい施設」といった肯定的意見も多く、日常的な支援拠点として高く評価されています。

■小学生

おもちゃ・マンガの増加希望

細かいおもちゃを無くさないでほしい

冷房強化の要望

トイレの臭い・清潔面の改善

ゴミ箱設置の要望

静かに集中できるスペースの確保

寝られる小部屋の希望

遊具の増設

図書室でのお菓子可否

充電設備の要望

特に小学校4年生層から、設備面・環境面への具体的な改善要望が多く寄せられています。

■中高生

お菓子配布希望

ボードゲーム増設

ジム機能の拡充

概ね「楽しい」との声もあり、利用満足度は高いと考えられます。

■成人

館長変更による運営方針の違いへの戸惑い

行事手伝い人数の適正化

地域住民と子どもの共存のあり方

清掃レベルへの言及

若手職員の対応力への意見

月1回の要望アンケート実施希望

自動販売機設置要望

地域拠点としての在り方や運営体制に対する建設的な意見が多く見られます。

こども文化センター以外でよくいく場所があれば教えてください。

全年代を通じて「公園」が最も多く、次いで「友達の家」「自宅」が挙がっています。

乳幼児では夢パークや市民プラザなど公共施設利用も見られます。

中高生ではカラオケや商業エリア、高校生ではジム利用も確認できます。

地域内の公園ネットワークが重要な遊び場となっている実態が明確です。

■ 全体傾向まとめ

小学校中学年(特に4年生)が利用の中心層

学年が上がるにつれ、ゲーム・集会室利用が増加

中高生以降は卓球利用が顕著

乳幼児は安心・安全な屋内遊び場として評価

イベントは大会型・季節型・お祭り型の人気が高い

設備面(トイレ・冷房・ゴミ箱・静音環境)への具体的な要望が一定数存在

地域交流拠点としての役割への期待も大きい

本アンケート結果から、上作延こども文化センターは「放課後の居場所」「友達との交流拠点」「地域世代交流の場」として広く活用されていることが確認できました。一方で、環境整備や備品充実への具体的な改善要望も寄せられており、今後の運営改善の参考といたします。